

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「個人に最適化された社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

場面や状況により変化するひとの幸福な状態を再現性高く計測・評価する技術に基づく新サービスの創出

3. 研究開発課題名

新価値 IKIGAI 駆動による社会貢献活動の個人最適化

4. 研究開発代表者名（機関名および役職は評価時点）

飯島 勝矢（東京大学未来ビジョン研究センター 教授）

5. 評価結果

評点：A 優れている

総評：

本研究開発課題は、地域貢献活動の研修を受けた高齢者（フレイルサポーター）の生きがい感を①目的・動機づけや達成感、②継続性を生む本人の居心地良さや楽しさ、③社会的な地域貢献及び他者とのつながり・関係性の3要素で成す概念を「新価値 IKIGAI」とし、個々の主観に基づく活動中の感情や行動情報から、フレイルサポーターがその活動を通じて得られる新たな生きがい感を客観的に可視化・定量化することを目指すものである。

探索研究期間では、「新価値 IKIGAI」の客観的指標として、(1)音声、(2)表情、(3)姿勢、(4)活動量（歩数、心拍数）、(5)会話量及び発言内容、(6)他者とのインタラクションの状況について、データ収集及び分析を行い、これまで主観的に測定してきたフレイルサポーターの生きがい感の3要素を、客観的に可視化・定量化することに成功し、フレイルサポーターの生きがい感に寄り添う無理のない活動を促す方法を見いだす着実な研究成果が認められた。

今後は、多様な人々が幸福感を実感できる未来社会の実現のために本研究開発が発展し、さらに、利他的行動としての「新価値 IKIGAI」が、フレイルサポーター以外にも汎用的に活用され、社会・経済へ波及することを期待する。

以上